

史跡が多い上宇部地区。地域づくり協議会(浅田宏之会長)がホームページで紹介している三つのウォーキングコースのうち、中村・中尾コースを参考にした約4キロを1時間半ほどかけて散策した。

## 創刊110周年記念 誇れるふるさと 24地区リレー <上宇部④ 散策マップ>

# 福原家ゆかりの史跡や石碑



## 古民家カフェで一息

スタートは宇部の総鎮守として市民にはなじみ深い琴崎八幡宮(①)。国道490号を南下し、看板に従つて右折すると、石垣と木々に囲まれた邸宅跡が見えてくる。1976年に公園として整備された福原史跡公園(②)だ。石段を上り、復元された門をくぐると、ほこらなどが、当時

守として市民にはなじみ深い琴崎八幡宮(①)。跡石碑(③)がある。福原家が開いた維新館では、武士の子を主体に志願した一般家庭の子に志願した一般家庭の子に、も漢字、算法、兵学など

をしのばせる。

公園の南西には維新館

を開店し、鎌田の田で取れ

たもち玄米を使つたおは

るべ(⑦)。「右・中山、左・藤まがり」とあり、

ここが当時の幹線道路だ

ったことが分かる。

前11時～午後5時。

店を出て、中村1丁目

にある不動様と荒神様の

ほこら(⑥)へ。敷地内

には、無造作に大きく平

らな石が置いてある。金

屬音が出る「カンカン石」

だ。誰が、なぜ、ここに

置いたかは分からぬ。

ほこらから北に延びる

細い路地をちょっとと進ん

だ三差路のたもとにあ

る。そこには、

琴崎八幡宮の御旅所前に

ある旧渦橋(⑨)が最後

の目的地だ。時雨川に架

かる小さな橋で、寛政時

代に架けられた御影石の

太鼓橋を復元している。

中尾、中村地区の路地は車1台分がやつと

の道も多く、江戸時代から残る道もある。県

観光サイト「おいでませ山口へ」内の「古地

図を片手にまちを歩こう」を活用して、その

地図と照らし合わせ、当時に思いをはせなが

ら歩いてみても面白い。

次回は厚南地区。6月14日スタート。

コースのうち、中村・中尾コースを参考にした約4キロを1時間半ほどかけて散策した。

その近くにある古民家

カフェ「かまたの恵」(⑤)

は休憩につづつ

つけ。2018年5月に

築60年の民家を改装して

中尾、中村地区の路地は車1台分がやつと

の道も多く、江戸時代から残る道もある。県

観光サイト「おいでませ山口へ」内の「古地

図を片手にまちを歩こう」を活用して、その

地図と照らし合わせ、当時に思いをはせなが

ら歩いてみても面白い。

次回は厚南地区。6月14日スタート。